

授業科目 発達障害作業療法評価学

【担当教員名】 永井 洋一	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

発達障害に対する作業療法の評価が遂行できるために、正常発達に関する基礎知識と、それらの障害を評価するための知識を身につける

<行動目標：S B O>

1. 発達障害に対する作業療法における評価の特徴を説明できる
2. 発達評価のためのスクリーニングと領域別評価の目的を説明できる
3. 小児期における運動・姿勢の発達とその評価方法を説明できる
4. 小児期における目と手の協調運動の発達とその評価方法を説明できる
5. 小児期における知覚・認知の発達とその評価方法を説明できる
6. 小児期における心理社会的能力の発達とその評価方法を説明できる
7. 小児期における日常生活活動・適応行動の発達とその評価方法を説明できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	発達障害の作業療法評価総論	1	講義
2	運動と姿勢の発達(1)	3	
3	" (2)	3	
4	目と手の協調性の発達	4	
5	知覚・認知の発達	5	中間テスト
6	心理社会的能力の発達	6	
7	日常生活活動・適応行動の発達(遊びを含む)	7	
8	スクリーニングと領域別検査	2	
9	運動・姿勢発達の評価	3	
10	目と手の協調性発達の評価	4	
11	知覚・認知発達の評価	5	中間テスト
12	心理社会的能力発達の評価	6	
13	日常生活活動・適応行動発達の評価	7	
14	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業療法学全書第3巻『作業療法評価法』	日本作業療法士協会	協同医書出版社	1999
	作業療法学全書第6巻『発達障害』	日本作業療法士協会	協同医書出版社	1999
参考書	『発達障害と作業療法』 岩崎清隆、三輪書店、2001			
その他の資料	授業中に資料を配付する			

【評価方法】 出席：10%、積極的参加：10%、中間試験：30%、 期末試験：50%	【履修上の留意点】 1年次の人間発達学の単位を取得していること。 参考図書・資料を読んで授業に臨むこと 紹介するビデオは必ず見ておくこと
--	---